

# まちのたから 発見



## 日野の伝統 ホイノボリを作り続ける



野邊 兎一さん(増田)

細かくあげた竹ひごにピンクと白色の紙で作られた花を飾り、傘のように垂らすホイノボリは日野町特有のもので、昨年新しくなった日野消防署に飾られているホイノボリを寄贈され、地域等のイベントでも作成、提供されている野邊兎一さんにお話を聞きました。

●日野の伝統を守る  
野邊さんが初めてホイノボリを作られたのは、八千銚神社の宮守になったときだったそうです。増田ではひごに花をつけるのは宮守の役目。祭り前に宮守が集まり、作業

されています。祭り以外の場所に初めて飾られたのは、近江日野商人館でした。職員の「商人館にもホイノボリを飾りたい」という言葉を聞き、作られました。その後は、日野ひなまつり紀行のときにまちかど感応館に飾られました。いずれも「日野の伝統を守っていきたく」という思いに込めて作られたものです。

●喜んでもらえるから続けられる  
ホイノボリを作ってほしいと言った依頼があれば、飾る場所を確認し、図面の作成から始められます。きれいに

ひごがしなるように、何度も微調整を重ね、組み立てて完成してから最終チェックを欠かされません。野邊さんは「自分が何かしてもらったときでも丁寧さが伝わるのとやり層嬉しくなる。自分が贈る側するときにも、きちっとした作業をしたい。贈った方に喜んでもらえるので、続いていると思います」と話されました。

もともと物づくりが好きで野邊さん。作業している人を見て学ぶことや実際に教えてもらう、技を習得していくことが楽しいそうで、しめ縄や編みかごなども作っておられます。



# まちづくり応援のため 貴重なご寄附をいただきました。

ふるさと納税制度は、「ふるさと」に対する貢献または応援したいという皆さんの善意や厚志を寄附という形にして、届けようとする制度です。

平成27年度も、全国各地の皆さんから多くのご寄附をいただき、誠にありがとうございました。

温かいご寄附につきましては、日野町のまちづくりのための各種事業に、大切に活用させていただきます。

寄附者数 14名

寄附金額 435万5千円

温かいご寄附を、ありがとうございました。

【まちづくり応援寄附金(ふるさと納税)】

- ・岩手県盛岡市 島地 興霖 さん 10万円
- ・東京都八王子市 福永 義郎 さん 30万円
- ・東京都世田谷区 市岡 勝博 さん 5万円
- ・滋賀県草津市 岡 藤太郎 さん 60万円
- ・滋賀県草津市 岡 敦子 さん 10万円
- ・東京都世田谷区 分林 保弘 さん 200万円

※氏名等の公表に同意いただいた方のみの紹介とさせていただきます。

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎065552



# 100歳おめでとうございます

～お体を大切に、いつまでもお元気でいてください。～

## にしかわ 西川 ためさん(日田)

1月17日に日田の西川ためさんが100歳のお誕生日を迎えられ、同月の22日に町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。

西川さんは、戦争で夫を亡くされ、大変苦勞されましたが、一生懸命、田や畑仕事をしながら2人の子を育てられました。

1年半前まで元気に野菜作りをされておられ、採れた野菜を近所の方にあげるのが好きだったそうです。



## はぐろ 齒黒 ヨシさん(奥之池)

2月20日に奥之池の齒黒ヨシさんが100歳のお誕生日を迎えられ、同月の23日に町長をはじめ、関係者がお祝いに伺いました。

齒黒さんは、20歳の時に清田から奥之池に嫁がれました。農業をされたり、裁縫が得意で着物の仕立てをされていました。

100歳になった現在も1人暮らしをされており、地域の方に支えられながら元気に過ごされています。



## 新たに着任した地域おこし協力隊を紹介します

3月1日(火)、日野町では2人目となる、地域おこし協力隊の委嘱状交付式を行いました。

地域おこし協力隊とは、総務省の事業で、地方自治体が都市に住む人材を地域おこし協力隊員に委嘱して、地域活性化に向けての活動に従事してもらい、併せて隊員の定住を図るものです。

隊員には、大阪府吹田市出身の鵜瀬(うのせ)ゆりさんが着任され、3月から3年間、「食と伝統文化を通じて人の心を豊かにする活動」として、近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」を活用した「地産地消 食体験レストラン」の企画・運営補助や地域資源の再発見と磨き上げ、

町内外への情報発信など地域活性化につながる活動に取り組みいただきます。



▲藤澤町長と鵜瀬隊員

このたび日野町で伝統料理を継承する会の方々と一緒に企画をさせていただき、その活動をウェブを通してPRするため、地域おこし協力隊に着任しました鵜瀬と申します。

高校の頃から食べ物に関する仕事がしたいと思い、大学で管理栄養士の資格を取り、これまでは飲食や小売の会社、卸売で食品を扱う会社で企画や販売促進、品質管理や商品開発、そして最近まではホームページの作成やネットショップの運営をする仕事をしていました。

手作りの食事の大切さや日本の元からある食生活の良き文化を町内外で知ってもらえるよう、これから努めていきたいと思えます。

初めて訪れた際に、日野町は旧山中邸をはじめ素敵な文化財や習慣が多く、町の方々の人柄も温かくとも素敵だと感じました。

私一人の力では何もできないと思いますので、これから皆さまの力を借りて、日野町のファンをたくさん増やせるようにしていきたいです！

これからどうぞ、よろしくお願いたします。

鵜瀬(うのせ) ゆりさん